

(一級河川 中ノ井川)

要 望 書



中ノ井川ショートカット事業周辺（上空より）

平成24年10月

中ノ井川ショートカット事業促進協議会

要 望 書

滋賀県におかれましては、栗東市民の生活基盤の根源をなす治水対策として、中ノ井川ショートカット事業に格段のご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、栗東市の中央部を流れる中ノ井川は、都市排水・雨水排水としての機能と共に、都市空間に潤いと安らぎを提供する重要な河川であります。

しかし、当河川につきましては未改修箇所が多く、蜂屋地区をはじめとする沿川地域におきましては、今日まで大雨による浸水被害が毎年のように繰り返されている状況であります。

中ノ井川ショートカット事業につきましては、平成19年度には下流部の葉山川合流点から百々川流入部までの約960メートルの通水が完成しております。

しかしながら、上流部計画延長約2,600m区間に隣接する蜂屋、大橋地先では依然、毎年のように浸水被害が続いており、本年も冠水等により、9月末現在4度通行止をしたところです。

これまでに、暫定対策として、調整池等の設置を頂きましたが、観測記録を上回る近年のゲリラ的豪雨により、浸水被害の増加と共に周辺住民の不安も大きくなっている状況にあります。

本年度の当協議会総会において、平成24年度よりの本格的事業着手に向けた事業用地の取得、物件補償調査を進めるとの説明を受け、沿線住民は大いに期待するところであります。

上流部、蜂屋、大橋地先の事業着手までには、相当の年数が必要となることから、蜂屋地先における暫定放水路整備のための調査、設計を同時に促進して頂きますようお願い致します。

今後の更なる事業促進に期待し、将来にわたり洪水被害に脅えることなく、安全に安心して市民生活が営めるよう一日も早い完成を心から待ち望んでいるところであります。

現下の厳しい経済・財政状況の中ではありますが、沿川地域における浸水被害の現状等を深くご認識いただき、中ノ井川ショートカット事業の促進に関する次の事項につきまして、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 事 項

1. 中ノ井川ショートカット事業上流部(栗東市下鉤地先から栗東市大橋地先間 計画延長 L=2,600m)改修事業の促進について

下流部の中ノ井ショートカット事業完了区間より上流、栗東市下鉤地先から大橋地先までの上流計画区間について、本格的に事業化を頂きますようお願い申し上げます。

この地域は、上流域の広大な市街地区域の雨水排水を受け、下流の葉山川への通過河道の役割を担っていることから、経済成長時期頃からの課題となっており、早期完成を悲願としております。



上流部(蜂屋地先) 浸水被害状況 (H7.7.21)



平常時



上流部浸水被害状況 (S61. 7)



上流部浸水被害状況 (H7. 5. 12)



上流部浸水被害状況 (H11. 6. 27)



上流部浸水被害状況 (H16. 6. 11)

2. 緊急対策工事について

未だに浸水被害が続く新幹線交差部より上流部の緊急対策として、現川狭隘箇所への改修および計画河川ルートを活用した暫定放水路等の早期整備をお願い申し上げます。

平成20年には、蜂屋、大橋地区で27棟の床下浸水被害や、平成22年は4回、昨年は3回、今年9月末現在では4回、集中豪雨による道路冠水等の被害が発生し、毎年、床下浸水や道路冠水の被害が増えつつあり、市民生活が大きく脅かされております。



浸水被害状況 (H23. 9. 21)



中ノ井川の平常時

平成24年10月

中ノ井川ショートカット事業促進協議会

会長 園 秋

